

2024年度事業報告書

I 事業の実施概要

(1) 助成事業	2
(2) 表彰事業～放送文化基金賞の実施と他の賞への参加～	3
(3) 制作者フォーラムの開催	4
(4) 設立 50 周年記念事業	5
(5) 定期刊行物の刊行	6
(6) ホームページ等による広報	7
(7) 資産運用検討委員会の開催	7

II 処務の概要

(1) 役員、評議員等に関する事項	8
(2) 理事会および評議員会に関する事項	12

III 付属明細書(資料 1～4)

2024年度事業報告書

I 事業の実施概要

1925年3月のラジオ放送が開始から100年が経過し、近年の情報通信技術の著しい発展により、放送を取り巻く世界は大きな転機を迎えつつあります。

日常生活における放送の位置づけが日々変化を続けていくなかで、放送文化基金は放送を中心としたメディア文化の発展と向上に貢献すべく、設立50周年記念事業を中心に事業の着実な遂行と充実に努めました。

助成事業においては、2024年度より人文社会・文化部門からイベント関連を独立させ、技術開発、人文社会、イベント事業の3分野に助成対象を再編し、よりきめ細かな対応を図るとともに、昨年度に引続き学術誌に広告を掲載し、周知活動の強化に取り組みました。なお、技術開発部門の助成金の一部に解散した東京ケーブルビジョンから受入れた寄付金を充当しました。

表彰事業においては、放送文化基金賞贈呈式のイベントとしての質的充実を図りつつ、視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組やコンテンツおよび個人・グループの表彰を実施しました。なお、本年は通常年に加え特別賞として、放送文化基金50周年記念賞を5件贈呈することとしました。

制作者支援活動事業においては、「北海道・東北地区」、「北陸・甲信越地区」、「愛知・岐阜・三重地区」、「中国・四国地区」、「九州・沖縄地区」の5地区で現地の実行委員会との共催による制作者フォーラムを開催し、系列や地域の枠を越えた交流の場を若手制作者等に提供した。なお、各地区における制作者フォーラムが一層充実したものとなるよう支援額の増額を行いました。

設立50周年記念事業では、「やまなし 防災減災フェス」や「関西民放NHK連携プロジェクト」への協賛などの事業活動を展開しました。

(1)助成事業

ア 2024年度助成

2024年度より人文社会・文化部門からイベント関連を独立させ、技術開発、人文社会、イベント事業の3分野に助成対象を再編した。助成要項に基づき公募を行った結果、118件の申請があり、助成審査委員会の審査と理事会の審議を経て、最終的に41件、6,905万円の助成を決定した。

(単位 万円)

区 分	申 請		採 択	
	件 数	金 額	件 数	金 額
技 術 開 発	23	9,737	8	2,399
人 文 社 会	37	6,660	15	1,116
イベント事業	58	21,069	18	3,390
合 計	118	37,466	41	6,905

(助成一覧 資料 1)

なお、金融緩和政策の長期化により資産運用収入が減少する状況下で、助成事業を安定的に継続していくため 2014 年度から 5 年間にわたり積み立てた助成費用準備資金から 2,000 万円、また解散した財団法人東京ケーブルビジョンより 2017 年に受け入れた寄付金から 1,000 万円をそれぞれ取崩して、助成金の一部に充当している。

助成金贈呈式は 2025 年 3 月 7 日に開催され、目録贈呈と懇親会を実施した。また、贈呈式に先立ち、技術開発部門では福井工業高等専門学校 教授の濱住啓之氏による『マイクロ波帯 FPU 用 SC-FDE 無線伝送方式』、人文社会部門では京都産業大学 准教授の千葉悠志氏による『国際放送とコスモポリタンな文化・都市——カタールの事例から』、イベント事業部門では「北海道ドキュメンタリーワークショップ」実行委員会 委員長 山崎裕侍氏による『北海道ドキュメンタリーワークショップが生まれた理由、必要な理由』と喫茶らじお実行委員会 ディレクター 高橋紘子 氏による『喫茶らじお～おしゃべりがつなぐ、まちとひと～』をテーマとした成果報告会を開催した。

イ 2022年度助成事業の実施報告

2024年10月～11月に開催したそれぞれの審査委員会で、2022年度に助成した技術開発6件、人文社会・文化21件の実施報告(成果報告・2024年6月末締切)について1件ずつ内容の評価を行った。

(2)表彰事業～放送文化基金賞の実施と他の賞への参加～

ア 第50回放送文化基金賞

2023年度中に放送・配信された優れた番組・コンテンツとその期間を中心に顕著な業績をあげた個人・グループを対象に、2024年4月～5月に開かれた各部門の専門委員会、審査委員会を経たのち、理事会で計35件を決定した。

領 域	応募・推薦数	表彰数	備 考
ドキュメンタリー	81	5	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞3
ドラマ	59	4	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞2
エンターテインメント	70	4	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞2
ラジオ	31	3	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞1
個別分野	—	6	番組・コンテンツの受賞作品から選定
放送文化	15	4	—
放送技術	9	4	
50周年記念賞	—	5	—
合 計	265	35	

(「放送文化基金賞」受賞一覧 資料2)

賞金は最優秀賞が 100 万円、優秀賞が 70 万円、奨励賞が 50 万円、個人賞は各 30 万円。また放送文化・放送技術部門の賞金は各 30 万円、放送文化基金 50 周年記念賞は 50 万円。

最優秀賞を受賞した番組・コンテンツは、ドキュメンタリー部門が『ETV特集「膨張と忘却 ～理の人が見た日本の原子力政策～」』（NHK福岡放送局）、ドラマ部門が『NHKスペシャル シリーズ“宗教2世” 神の子はつぶやく』（NHK）、エンターテインメント部門が『歩道・車道バラエティ 道との遭遇』（CBCテレビ）、ラジオ部門が『みんなでひきこもりラジオ』（NHK）である。

このほか放送文化が 4 件、放送技術が 4 件、放送文化基金 50 周年記念賞が 5 件受賞した。放送文化基金賞の贈呈式は、2024 年 7 月 9 日にオークラ東京で開催した。

イ 他の賞への参加

ABU(アジア太平洋放送連合)番組コンクールおよび「創作ドラマ大賞」に参加した。

ABU番組コンクールの授賞式は、2024 年 10 月 22 日にトルコのイスタンブールで行われ、スポンサーの一員として賞金 US\$4,000 を贈呈した。

日本放送作家協会とNHKが主催する「創作ドラマ大賞」について、第49回「創作テレビドラマ大賞」の贈賞式は2024年11月8日に行われ、大賞の『ある日彼女のパンティーが、』（加藤予備氏）に賞金 50 万円を贈呈した。また、第53回「創作ラジオドラマ大賞」の贈賞式は2025年3月25日に行われ、大賞の『マイリバー、マイライフ』（天見ろね氏）に賞金 50 万円を贈呈した。

（他の賞への参加結果 資料 3）

(3)制作者フォーラムの開催

NHK、民放、制作プロダクション等、組織の枠を越えた制作者同士の自由な意見交換や交流の場を設けることを目的に開催している。

2024年度は、「北海道・東北地区」、「北陸・甲信越地区」「愛知・岐阜・三重地区」、「中国・四国地区」、「九州・沖縄地区」の5地区で開催され、現地実行委員会との共催によるミニ番組コンテストと審査員によるトークセッションが行われた。

さらに、2025年2月15日(土)に東京で全国制作者フォーラム2025を開催し、上記5地区のミニ番組コンテストで入賞した作品の上映とゲストのベテラン制作者との意見交換、トークセッション『届けたい声がある～テレビ制作者たちの挑戦～』を実施した。

○北日本制作者フォーラム in あおもり（北海道・東北地区）

<北海道・東北の全民放とNHK 計40局>

日 時 2024年11月1日（金）

会 場 青森市男女共同参画プラザ カダール／青森市

参加者 約40人

○北陸・甲信越制作者フォーラム in とやま（北陸・甲信越地区）

<北陸・甲信越の全民放とNHK 計25局>

日 時 2024年11月30日（土）

会 場 NHK 富山放送局／富山市

参加者 約40人

○愛知・岐阜・三重制作者フォーラム in なごや（愛知・岐阜・三重地区）

<愛知・岐阜・三重の全民放とNHK 計10局>

日 時 2024年12月4日（水）

会 場 愛知芸術文化センター／名古屋市

参加者 約80人

○中四国制作者フォーラム in よなご（中国・四国地区）

<中国・四国の全民放とNHK 計32局>

日 時 2024年9月27日（金）

会 場 米子コンベンションセンター／米子市

参加者 約50人

○九州放送映像祭&制作者フォーラム（九州・沖縄地区）

<九州・沖縄の全民放と NHK 計35局>

日 時 2024年11月16日（土）

会 場 NHK 福岡放送局 よかビジョンホール／福岡市

参加者 約 60 人

(4)設立 50 周年記念事業

○「やまなし 防災減災フェス」への協賛

日 時 2024年5月11日（土） 10:30 ～ 16:00

会 場 甲府駅北口よっちゃばれ広場、甲府市歴史公園、山日 YBS ホール

<プログラム>

- ・NHK 甲府(FM)、FMFUJI、YBS ラジオによる共同防災特番公開放送
- ・NHK、UTY、YBS 気象予報士による役立つ防災クイズ
- ・トークイベント「能登半島地震から学べ」

秦 康範 氏 （日本大学 危機管理学部）

照 英 氏 （タレント）

佐々木 彩夏 氏 （タレント／ももいろクローバーZ）

など

○「関西民放 NHK 連携プロジェクト」への協賛

- ・毎日放送、朝日放送、関西テレビ、読賣テレビ、テレビ大阪、サンテレビ、NHK大阪放送局の7社が参加

4月～ 7社合同勉強会（2024 年度 7 回開催予定）

11月 連携PJ報道発表／共通スポット/共通サイト スタート

12月 災害報道 クロスロード研修

1月 阪神・淡路大震災30年

3月2日(日) イベント実施

- ・上映会『テレビが伝えた震災 30 年 若手からのメッセージ』
- ・シンポジウム／若手記者が語る『守りたい、だから 伝える』

(5) 定期刊行物の刊行

2024年9月には放送文化基金賞の受賞者インタビューなどを掲載した放送文化基金報(HBF)No.96を刊行した。

(6) ホームページ等による広報

ホームページでは事業活動全般について定期更新以外にも随時更新を行い、情報公開と基金のPRに努めた。

<日本語版内容>

助成決定および成果報告／助成対象のデータベース／放送文化基金賞のデータベース／放送文化基金賞の受賞一覧／助成・放送文化基金賞WEB申込等システム／各地区制作者フォーラムの開催予告と結果報告／事業計画・収支予算／事業報告／財務諸表／役員・評議員・審査委員名簿／基金の活動を親しみやすい形で紹介する読み物(読む・楽しむ) 等

<英語版内容>

助成の募集案内、助成対象一覧、放送文化基金賞の受賞一覧、ABU賞への参加について 等

(7) 資産運用検討委員会の開催

ア 目的等

資産運用の専門性をより向上させるための諮問的機関として設置しており、2024年9月30日と2024年11月27日に開催した。

イ 主なテーマ

- ・国内外の経済政策や金利・為替等の見通し
- ・債券市場や保有債券の分析、資産運用方針の検討等

ウ 構成委員

服部 海（野村證券(株) ポートフォリオ・コンサルティング 部 ALMソリューション課長）

松原 克美（放送文化基金 会計顧問・公認会計士）

清水 孝雄（放送文化基金 監事・TBS社友）

前田 浩志（放送文化基金 監事・日本放送協会経営企画局長）

（幹事）

梅岡 宏（放送文化基金 専務理事）

Ⅱ 処務の概要

(1) 役員、評議員等に関する事項

ア 評議員の退任

（ⅰ）高島 肇久 評議員は2024年12月28日付で退任した。

イ 審査委員の委嘱等

（ⅰ）審査委員の委嘱

・第76回理事会（2024年6月5日）において、助成審査委員会（イベント事業）委員を次のとおり委嘱した。

○ 助成審査委員会（イベント事業）

傍田 賢治 氏（日本放送協会理事）

委嘱期間 2024年6月5日から2026年3月31日まで

（中嶋 太一 委員の残任期間）

・第77回理事会（2024年7月26日）において、助成審査委員会（技術開発）委員を次のとおり委嘱した。

○ 助成審査委員会（技術開発）

神田 菊文 氏（日本放送協会放送技術研究所 副所長）

(2024年8月1日～日本放送協会放送技術研究所 所長)
委嘱期間 2024年8月1日から2026年3月31日まで
(今井亨 委員の残任期間)

- ・第79回理事会(2024年12月12日)において、助成審査委員会(イベント事業)委員を次のとおり委嘱した。

- 助成審査委員会(イベント事業)

田中 良憲 氏 (日本放送協会メディア総局展開センター長)

委嘱期間 2024年12月12日から2026年3月31日まで
(傍田 賢治 委員の残任期間)

- ・第80回理事会(2025年2月5日)において、放送文化基金賞審査委員会委員を次のとおり委嘱した。

- 放送文化基金賞審査委員会

山根 基世 氏 (アナウンサー)

委嘱期間 2025年2月5日から2026年3月31日まで
(河野 尚行 委員の残任期間)

(2)理事会および評議員会に関する事項

ア 理事会

開催年月日	主 な 議 案
2024.6.5 (第76回)	・ 2023年度事業報告および決算について ・ 助成審査委員会(イベント事業)委員の委嘱について ・ 第50回「放送文化基金賞」表彰対象について ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況

開催年月日	主 な 議 案
2024.7.26 (第77回)	・ 助成審査委員会(技術開発)委員の委嘱について ・ 助成規程の改定について ・ 2024年度助成(イベント事業・前期)の実施について ・ 専門委員会(助成・技術開発)委員の委嘱について ・ 事務局職員の採用について ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
2024.10.11 (第 78回)	・ 第36回評議員会の開催について ・ 2024年度事業活動収支 施行見込について ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
2024.12.12 (第 79 回)	・ 助成審査委員会(イベント事業)委員の委嘱について ・ 2025年度予算編成の考え方について ・ 2025年度資産運用方針について ・ 第51回放送文化基金賞「表彰実施細則」について ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
2025.2.5 (第 80 回)	・ 第37回評議員会の開催について ・ 審査委員会委員の委嘱について ・ 職員就業規則の改正について ・ 育児休業規程の改正について ・ 助成規程の改定について ・ 2025年度「助成要項」について ・ 2024年度助成の実施について ・ 2025年度事業計画および収支予算の編成について ・ 評議員の退任について

2025.2.5 (第 80 回)	・ 放送文化基金賞 審査委員会専門委員の委嘱について ・ 2024年度事業活動収支決算見込みについて ・ 2025年度業務予定について
----------------------	---

イ 評議員会

開催年月日	主 な 議 事
2024.6.21 (第 35 回)	・ 2023 年度事業報告および決算について ・ 2024 年度事業計画および収支予算について ・ 第 50 回「放送文化基金賞」選考結果について ・ 事業の執行状況について
2024.12.12 (第 36 回)	・ 2024 年度収支見通しおよび 2025 年度予算編成方針 ・ 事業の執行状況について

Ⅲ 付属明細書（資料 1～4）